

第120回定例会	
定例会会期日程	2
決算審査意見	3
令和3年度一般会計決算	4
補正予算議案ほか	8
一般質問	10
大高恒藏議員	11
大川清光議員	13
岩根環議員	15
藤田一則議員	17
今勝吉議員	19
決算に関する特別委員会	21
第121回臨時会	24
議会活動	25



人間力なくして、競技力向上なし！
～すべてに感謝を～

(修道卓球クラブスポーツ少年団)

決算審査意見

経費節減、合理化対策が浸透 効率的な運営がされている！



▲熊谷 孝 代表監査委員

歳入の町税は、3年に一度実施される評価替えにより、固定資産税の調定額が減少し、0.71パーセント減。徴収率は、前年度比同率の95.2パーセントだったことから、引き続き徴収努力を期待する。歳出については、予算執行における経費節減、合理化対策などが浸透し、効率的な運営が年間を通じて監査状況からも伺える。また、公債費の4.7パーセント減少に加え、新型コロナウイルス感染症防止対策等の補助費等の減額で

一般会計

住みよいまちづくり 健全な財政運営の両立に期待

監査委員 熊谷 孝
工藤 博利

9.1パーセント減となった。経常収支比率は、地方交付税が一時的に増加したことが要因と考えられ、前年度から5.9ポイント改善し、90.8パーセントとなった。町税や普通交付税が減少する中において、歳出構造の見直しを図りつつ、効果的な予算配分に努め、住みよいまちづくりと健全な財政運営の両立が実現されることを期待する。

国民健康保険事業特別会計

●事業勘定

歳入は、現年分の徴収率が1.4ポイント上昇しており大いに評価できる。しかしながら、収入未済額がまだまだ高額なので、引き続き、徴収率の向上を期待する。歳出については、新型コロナウイルス

感染症への感染を懸念して受診を控えた方が持病等を重症化し、保険給付費が前年度より増加したと考えられる。直診勘定
住民が安心できる医療サービスの充実と深浦診療所のさらなる健全運営に努められること。

後期高齢者医療特別会計

高齢化の進行で療養費の増加が予想されるので、今後も各種保健事業を展開し、健康維持・疾病予防の推進を図られることを望む。

介護保険特別会計

高齢化の進行で介護サービス需要が増加すると思われるので、引き続き、利用者一人一人の希望に沿ったサービスの提供を期待する。なお、収入未済額が年々増加しているため、抜本的な徴収対策を講じたい。

訪問看護ステーション特別会計

引き続き、在宅の要介護者等

下水道事業特別会計

収入未済額が高額にならないよう、徴収対策に万全を期していたきたい。公共下水道及び集落排水の加入率向上に努めながら、住みよい集落環境の維持推進を図るよう期待する。

財産区特別会計

今後も財産区財産の適正な管理に努めていただきたい。

(最後に)

今後の行財政運営に当たっては、引き続き簡素で効率的な運営に努め、長期的視点で予算の効率的執行を行っていただくこと。また、人口減少・少子高齢化の進行をはじめ、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、町勢の浮揚を図るための取組を継続し、迅速かつ的確に事業の優先度、緊急性を考慮しつつ、時機を失することなく思い切った政策を展開することを切望する。

深浦町議会第120回定例会

第120回定例会は、9月2日から9日まで8日間の会期で開かれました。

一般質問では5人の議員が登壇し、町政全般にわたり論戦を展開しました。

また、町長から補正予算や条例関係などの議案18件、報告6件が提出され、採決の結果、すべて原案のとおり可決されました。

令和3年度決算は、一般会計、特別会計など決算に関する特別委員会を設置し、集中審議の結果、全ての会計を認定しました。



▲提案理由の説明をする吉田町長

9/2 (金) ・全議案一括上程
・提案理由の説明



提案理由等の動画が視聴できます。

9/3 (土) ~ 9/4 (日) ・休会

9/5 (月) ・一般質問



大高 恒蔵 大川 清光 岩根 環 今 勝吉 藤田 一則

・決算に関する特別委員会設置



委員長 藤田 一則 副委員長 岩谷 司

9/6 (火) ~ 9/7 (水) ・決算に関する特別委員会

9/8 (木) ・休会

9/9 (金) ・議案審議、採決



議案審議等の動画が視聴できます。

議会録画配信
インターネット配信サービス
YouTube(ユーチューブ)で
録画配信を開始しました。
各ページのQRコードから
アクセスできます。



YouTube「深浦町議会チャンネル」

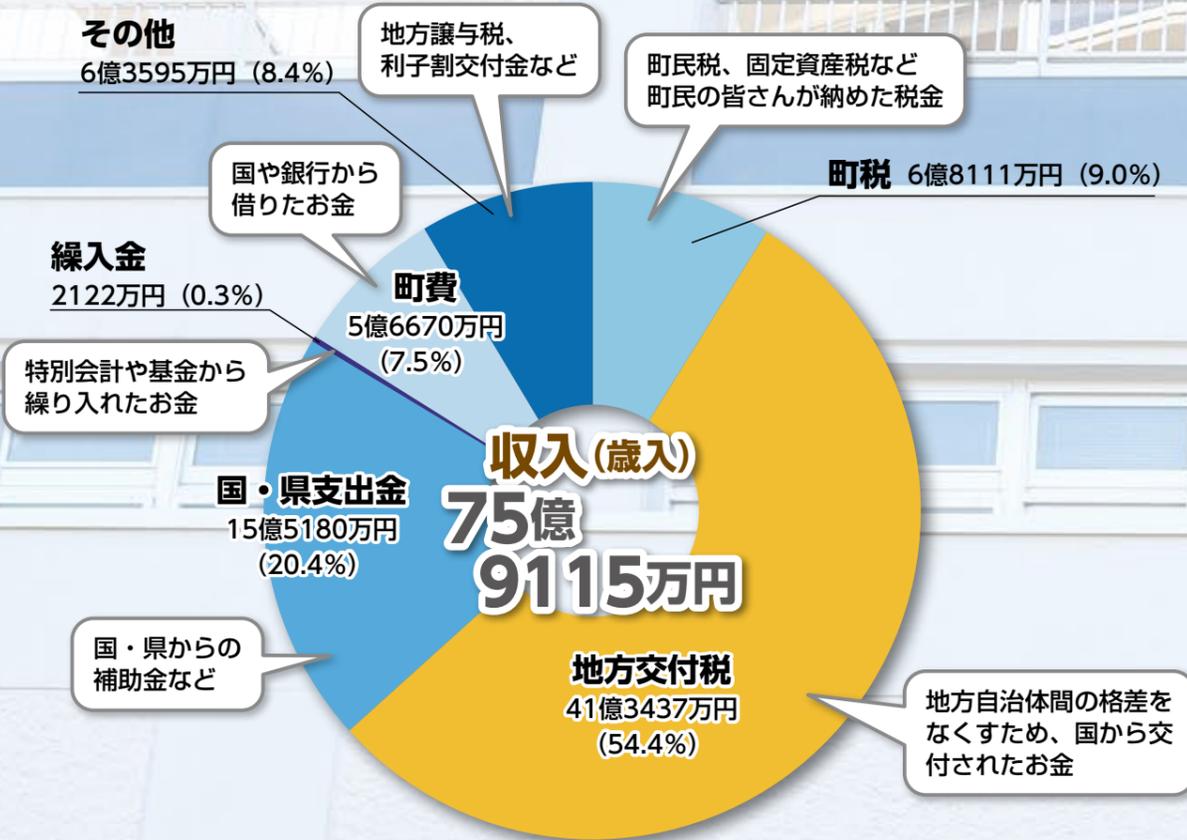
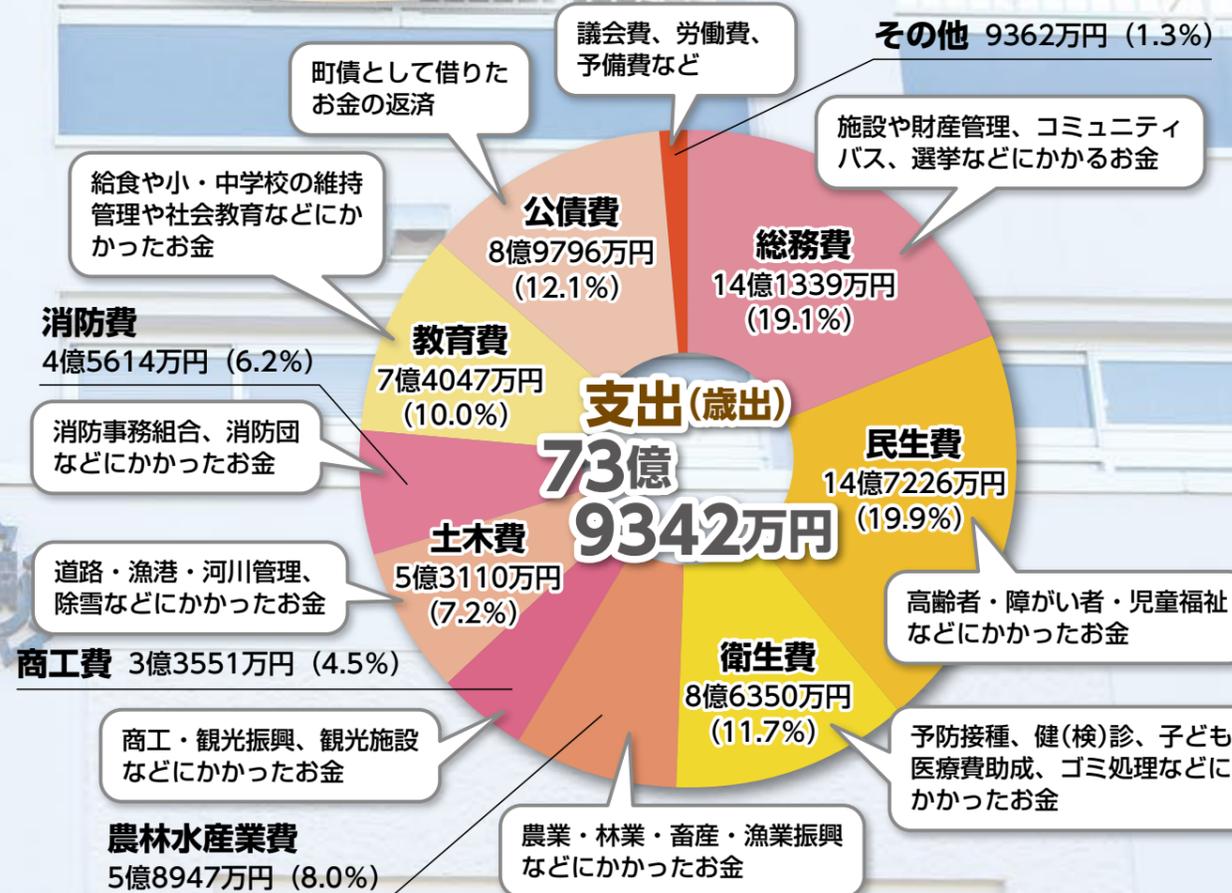
決算 深浦小学校大規模改修 1億7404万円

一般会計歳出
73億9342万円

令和2年度比 9.1%減

※千円単位で四捨五入して表示しています。

一般会計決算の内訳



◆議案第1号から第7号まで 一般会計・特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引	
議案第1号 一般会計	75億9115万円	73億9342万円	1億9773万円	
特別会計	議案第2号 国民健康保険事業 (事業勘定)	11億8970万円	11億6336万円	2634万円
	議案第2号 国民健康保険事業 (直診勘定)	3億3497万円	3億1636万円	1861万円
	議案第3号 後期高齢者医療	1億4277万円	1億3820万円	457万円
	議案第4号 介護保険	15億7404万円	15億3477万円	3927万円
	議案第5号 訪問看護ステーション	1455万円	1264万円	191万円
	議案第6号 下水道事業	1億7852万円	1億7721万円	131万円
	議案第7号 財産区	109万円	51万円	58万円

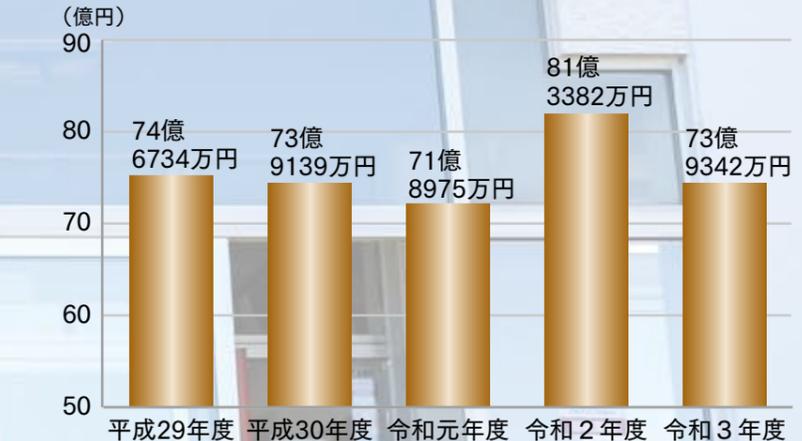
◆議案8号 水道事業会計決算

会計区分	損益計算書		貸借対照表		
	項目	金額 (万円)	項目	金額 (万円)	
企業会計	議案第8号水道事業	給水収益	1億5375万円	資産の部	48億3753万円
		経常利益	2509万円	負債の部	37億3716万円
		当期純利益	2506万円	資本の部	11億37万円

町債(借金)と基金(預金)の状況



◆5年間の一般会計の推移



(5) 背景は深浦小学校

(4)

令和3年度一般会計決算 歳出の主なもの

町の予算がきちんと執行されたか、決算に関する特別委員会で慎重に審議し、すべての会計決算を認定した。その中の一般会計歳出の主なものを御紹介します。(P21～23に関連記事)

決算額は、令和3年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。複数年事業もあります。また、金額は千円単位を四捨五入しています。



1億2113万円

小中学校空調設備設置

児童生徒の夏場における学習環境改善のためエアコンを整備した。



1億7404万円

深浦小学校大規模改修

校舎及び設備等の老朽化に伴い改修した。



7942万円

新型コロナウイルスワクチン接種

発病と重症化を予防及び感染拡大防止を図るため、町民へのワクチン接種を実施した。



3665万円

森の物産館キヨロ改修

新型コロナウイルス感染対策のためトイレ棟と渡り廊下を増築改修した。



4360万円

ウェスパ椿山物産館改修

ウェスパ椿山駅周辺の観光振興を図るため物産館を改修した。



9992万円

県営風合瀬地区農地整備負担金

県事業費（全体事業計画76.9ヘクタールの測量設計、換地原案の策定）に町も一部負担した。



5956万円

町道北金ヶ沢28号線道路改良

国道と広域農道を接続するための72.87mの道路を整備した。

- 農林水産業費
 - ・ 稲作振興推進事業費 1345万円
 - ・ 有害鳥獣駆除対策事業費 1400万円
 - ・ (緑)水産物供給基盤機能保全事業費 2454万円
- 土木費
 - ・ 道路メンテナンス事業費 2694万円
 - ・ 雪害対策費 1億4429万円



- 総務費
 - ・ 地域公共交通対策費 1090万円
 - ・ 新型コロナウイルス対応雇用安定支援事業費 1051万円
- 民生費
 - ・ 子どものための教育・保育給付費 2億6475万円
 - ・ 地域子ども・子育て支援事業費 1508万円
- 衛生費
 - ・ 予防接種費 1267万円
 - ・ 子ども医療給付費 1254万円
 - ・ 健康診査費 2269万円




5800万円

県管理漁港整備負担金

県事業費（北金ヶ沢漁港（北防波堤）、沢辺漁港（南防波堤）、岩崎漁港（浚渫））に町も一部負担した。

◆議案第18号
 工事の請負契約の件
 工事名 深財第1号
 深浦町庁舎空調設備整備工事
 請負代金 1億2540万円
 契約の相手方
 五所川原市字末広町30-43
 株式会社 丸英でんき
 代表取締役社長 飛嶋 響

その他の議案



◆議案第17号
 職員の育児休業等に関する
 条例の一部を改正する条例
 人事院規則の改正に伴い、
 職員の育児休業に関して取得
 条件の緩和等、所要の改正を
 する。

条例に関する議案

◆報告第6号
 深浦町教育委員会事務の点
 検及び評価報告の件

◆報告第5号
 深浦町が出資している法人
 の経営状況について
 (しらかみ十二湖株式会
 社)

◆報告第4号
 深浦町が出資している法人
 の経営状況について
 (株式会社ふかつら開発)

◆報告第3号
 深浦町が出資している法人
 の経営状況について
 (深浦町食産業振興公社)

◆報告第2号
 公営企業資金不足比率報告
 の件

◆報告第1号
 健全化判断比率報告の件

報告

◆第120回定例会採決等状況一覧

議案等	大川清光	岩谷司	岩根環	今勝吉	斉藤登	大高恒蔵	小野信吾	堀内榮治	藤田一則	工藤博利	亀川肇	議決結果 (賛成:反対)
議案第1号～議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(10:0)
議案第9号～議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(10:0)
報告第1号～報告第6号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告のみ

※ ○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、議長(亀川肇)は採決に加わらない。

新任の外国語指導助手(ALT)を紹介します

津軽弁勉強中!

7月25日から当町の外国語指導助手(ALT)として勤務している、レイノルズ・レベッカさんです。

- 出身地：アメリカ合衆国 ペンシルベニア州
- 趣味：Eスポーツ

初めまして、私はレイノルズ・レベッカです。“レベッカ”と呼んでください。アメリカから日本に来ました。深浦の景色がとてもきれいで、深浦で働くのが楽しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、日本人教師を補佐し、生きた英語を子供たちに伝える英語を母語とする方のことを言います。町民の皆さんレベッカ先生を見かけたら声をかけてください。



▲川の水と土石で陥没・崩落した町道長慶平1号線



▲土石流で大破した家屋(田野沢)

◆議案第9号
 令和4年度一般会計補正予
 算
 既定の予算に3億3472
 万4千円を追加し、総額を7
 2億6959万9千円とした。

補正予算議案

- 【歳出の主なもの】
(万円未満切り捨て)
- 総務費
 - ・F16燃料タンク投棄対策費(猿神鼻町有地の土壌入替) 1300万円
 - 民生費
 - ・青森県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費 1033万円
 - 農林水産業費
 - ・畑作振興推進事業費(大館畑作総合施設さく井工事ほか) 4870万円
 - 土木費
 - ・公園管理費(北金ヶ沢地区に遊具を設置ほか) 556万円

◆議案第10号から第16号まで 令和4年度特別会計・企業会計補正予算(万円未満切り捨て)

会計区分		補正額	総額
特別会計	議案第10号 国民健康保険事業(事業勘定)(直診勘定)	△2236万円 1480万円	11億6933万円 2億8920万円
	議案第11号 後期高齢者医療	780万円	1億6130万円
	議案第12号 介護保険	1546万円	15億9976万円
	議案第13号 訪問看護ステーション	△47万円	1602万円
	議案第14号 下水道事業	782万円	2億6102万円
	議案第15号 財産区	9万円	59万円

会計区分		補正予定額	総額
企業会計	議案第16号 水道事業	収益的 収入	800万円
		支出	746万円
	資本的	収入	1914万円
		支出	808万円

町政をたただす



問 男性版産休始まる 町の対応は？ 町が率先して！

答 産後パパ育休の取得が可能、より柔軟に取得できるようになる。制度の普及に取り組んでいく。

おおたか つねぞう
大高 恒藏 議員



質問者の動画が視聴できます。

答 町長
①「地方公務員の育児休業等に関する法律」の改正に伴い、本定例会に係る条例の一部改正を上程した。今回の改正には、父親の育児休業の分割取得や産後パパ育休（出生時育児休業）の取得が可能となるほか、育児参加のための休暇の対象期間を拡大するなど、より柔軟に取得ができるような内容になっている。役場職員個々の希望や事情に応じた働き方が可能となるような勤務環境を整備し、この制度の普及に取り組んでいく。

問 大高議員
①10月からは男性版産休が始まる。町の対応は。
②町が率先して生み育てやすい環境の整備をし、町内企業の模範となつてほしいが、町の考えは。

育児・介護休業法が改正されたが町の対応について

②町内の各企業でも制度の運用にそれぞれ取り組むことになるが、町としても、役場での運用状況を公表するなど制度の普及に努めていく。



サーモン養殖事業について

問 大高議員
日本サーモンファーム株式会社の社長が逮捕されたが、この事業を頓挫させないためにも町が徹底して協力すべきと思うが。

水田活用の直接支払交付金について

問 大高議員
令和8年度までの5年間、稲作のために一度も水張りを行わない農地は交付対象から除外されるというが、農家への影響は。
また、町として指導や支援は。

答 町長
当町における水田活用の直接支払交付金の交付対象作物

*水田活用の直接支払交付金＝転作作物の生産者に対して所得を補償する制度。国が指定した麦、飼料作物などに交付する「戦略作物助成」と、県や地域農業再生協議会が作物や単価を定める「産地交付金」で構成されている。

第120回定例会(9月議会)



一般質問

第120回定例会では、9月5日に一般質問が行われ、5人の議員が町政全般について質問しました。掲載は質問順で、質問と答弁は、広報委員会が要約しています。

1 大高 恒藏 議員(11ページ)

- ① 育児・介護休業法が改正されたが町の対応について
- ② サーモン養殖事業について
- ③ 水田活用の直接支払交付金について
- ④ 気候変動による農作物や海産物に与える影響について
- ⑤ 舂作の温泉熱を利用した栽培、養殖等について

2 大川 清光 議員(13ページ)

- ① 大イチョウの管理について
- ② 漁業振興について

3 岩根 環 議員(15ページ)

- ① 豪雨による災害対応について

4 藤田 一則 議員(17ページ)

- ① 「地方からはじまる次の時代への移行戦略」地域脱炭素を実現するための取組について
- ② わが町における集落の状況について

5 今 勝吉 議員(19ページ)

- ① 大雨被害について
- ② 十二湖観光振興について
- ③ 日本サーモンファーム(株)について
- ④ 空き家対策について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、執行機関に行財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを問ひ、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

町政をたただす

町政をたず



問

じゅ せいおとろ
大イチョウの樹勢衰え
樹木医による調査は？

答

とうあつがい
来訪者の増加による踏圧害が深刻
土壌改良を行ったが、効果得られず

おおかわ きよみつ
大川 清光 議員



大イチョウの管理について

問 大川議員

①近年、大イチョウの葉の縮小及び変色部分が見受けられる。樹木医による調査等を最近行ったのか。
またその結果及び町の管理体制は。
②大イチョウは昔から神木として神楽も行われていたが、現在は行われていない。木の周りの祠は老朽化しており、枝の下になってしまっている。祠の移動をすべきではないか。
③神楽である8月16日に大イチョウをメインとした観光事業として、ライトアップして「ビックグリーン」をやるなど、北金ヶ沢での祭りがなくなったことを踏まえて検討すべきと思うが。

答 町長

①平成28年9月に樹木医が「来訪者の増加による踏圧害が深刻であり、葉が小さくな



立入禁止となった大イチョウの幹周辺

っていることから踏圧害による根の成長阻害がある。」と診断があった。そのため、平成30年度に樹木医の指導を受けながら土壌改良を行ったが思うような効果が得られず、令和2年6月に再度、樹木医に相談したところ「幹周辺に立入れないようにしたほうが良い。」とのアドバイスを受け、北金ヶ沢自治会、北金ヶ沢イチョウ保存会、観光課との協議の上、令和3年5月か

ら幹周辺に立入禁止柵を設置している。
また、今年度は青森県樹木医会に調査及び土壌改良を委託する予定となっている。
②祠の建立者が特定できないまま現在に至っており、今後更に老朽化が進み、景観を損なうような場合は、北金ヶ沢自治会、北金ヶ沢イチョウ保存会と協議の上、その対応について検討したい。(次ページに続く)



建立者が分からない祠

町政をたず



は、飼料作物、稲発酵粗飼料、飼料用米、野菜類で、このうち見直しによって影響を受ける作物と農家は、飼料作物が12経営体で面積は52ヘクタール、野菜類が32経営体で面積は11ヘクタールと見込まれる。
農林水産省は、今回の見直しに対して、生産者や農業者団体などから懸念の声が高まっていることを受け、現場の課題を把握・検証し、より詳細なルールを示すこととしている。町としては、その具体的な内容を踏まえて、県や農協など関係機関と連携しながら、農業経営の安定化につながる支援策を検討していきたい。

気候変動による農作物や海産物に与える影響について

問 大高議員

当町の農作物や魚貝、海藻類に与える、気候変動の影響を調査し、中・長期的にどのように対応するのか。

答 町長

人知を超えた自然災害を前に、農業者や漁業者が備えるべき第一の対策として、まずは災害等によって収穫量が減少した場合に補償される「農業共済」や「収入保険」、また、米価下落時の収入減少を補填する「ナラシ対策」に加入することが肝要であることから、町としても、これらへの加入を奨励していきたい。
また、中・長期的な対策としては、気候変動に耐えうる品目の導入や品種転換、生産技術の向上、農地や農業用施設の強化といった生産基盤の強化が重要なので、国や県、



農協、農業共済組合、地域農業者などと連携しながら気候変動に対応した取組を進める。
また、魚貝や海藻類の対応としても、不漁等で減少した損失を補償する「漁獲共済」や「積立ぷらす」という漁業共済制度がある。引き続き漁業共済への加入促進を図るとともに、漁獲サイズや漁獲量、漁獲期間の制限等による「資源管理型漁業」を推進するべく、各漁協と連携しながら水揚げの確保に努めていきたい。

船作の温泉熱を利用した栽培、養殖等について

問 大高議員

温泉熱を利用し試験的にチエリモヤの栽培をしているが、その状況は。
そのほかにも、温泉熱を利用した栽培、養殖等も考えられないか。

答 町長

温泉熱を利用したチエリモヤの試験栽培は、町と包括連携協定を締結している弘前大学が、令和3年5月から船作地区（ウエスパ椿山敷地内）に簡易ビニールハウスを設置して実施している。
現在の栽培状況は、昨年度の冬期間は温泉熱で冬を超えたが、春の高温で、一部が生育不良となり、改めて苗木から試験栽培を実施



チエリモヤの試験栽培

している。
なお、温泉熱の利用は、現時点ではチエリモヤのみで、専門的なノウハウも必要なので、町主導ではなく、産官学等の連携のもとで実施していきたい。

※チエリモヤ=南米のペルーやエクアドルのアンデス山脈が原産の植物で、その果実はアンデスのシャーベットとも呼ばれ、マンゴー、マンゴスチンと共に世界三大フルーツの1つとも言われています。

町政をたず



問 観測史上最大を記録した豪雨 甚大な被害への町の対応は？

答 早期の本格復旧、県と連携し取り組む。町民生活への悪影響を最小限に対応する。

岩根 環 議員



質問者の動画が視聴できます。

豪雨による災害対応について

問 岩根議員

8月3日に最大1時間降水量が91.5ミリ、9日から10日の24時間雨量が325ミリと観測史上最大を記録した豪雨で、土砂崩れ、町道の陥没、家屋の全壊、2つの集落の孤立等、全町にわたる甚大な被害に対する町の対応は、①追良瀬、松原線の道路の復旧はいつ頃か。②長慶平地区の電気の復旧は、復旧のための費用、予算は。③9日に出した深浦町全域の避難指示で、どれだけの住民が避難したのか。④各避難所への食料、飲物は届けることは出来たのか。⑤田野沢では住家3棟の全壊があった。これは現在進めている風力発電工事の影響はなかったのか。

答 町長

①8月21日に三村県知事が町道松原1号線の被災箇所を視察し、県が、追良瀬川の復旧工事と併せて、町道の復旧工事も進めると表明した。知事は、松原の住民が不自由な生活を送っていることにも触れ、速やかに応急復旧を行うよう、県担当者に指示し、早速翌日から県が応急復旧に着手し、

先般、車両通行が可能な状態まで応急復旧が進んでいる。今後は、早期の本格復旧に向け、県と連携しながら取り組んでいく。また、被災から停電が続いていた長慶平地区は、8月15日の夜間に東北電力の高圧応急電源車が現地に入り、16日午後には、ほぼ全ての世帯で復旧した。(次ページに続く)



三村県知事が町道松原1号線の被災箇所を視察



追良瀬川の増水で崩壊し、車両通行ができなくなった町道松原1号線

町政をたず



安倍安東まつり(昭和62年)

③大イチョウは当町が誇る観光資源の一つで、今後どのような形で祭りやイベントが開催できるのかを、地域の方々とともに検討したい。ただ一方で、高齢化と人口減少に伴うマンパワー不足には大きな危機感を抱いている。今後の大イチョウを中心としたイベントの開催については、会場周辺の駐車場の確保や安心できる会場の警備計画なども含め、関係部署や関係機関のほか、地域の方々ともその内容や方法等について検討していきたい。

漁業振興について

問 大川議員

①イトウの中間育成(海上養殖)の今後の展望は。②魚の生産調整及び付加価値向上に向けて、個人管理のいけすの設置を検討できないか。③地球温暖化で水揚げの減少はより深刻化している今、海中で何が起きているのか、調査が重要ではないか。そこで、若い漁業者を中心に漁協の枠を超えたダイバー育成の資格取得、道具一式の購入を町で補助できないか。

答 町長

①現在、イトウの「海水養殖」は、新深浦町漁協の大戸瀬地区の青年部で行っており、平成25年度から2年間、北金ヶ沢漁港内でイトウの「海上養殖試験」を行ったのが始まりだが、漁港内での養殖試験には区画漁業権を取得する必要があることが分かり、平成27



イトウの陸上養殖(大戸瀬地区)

年度から現在の種苗センターの水槽で行う「陸上養殖」に切り替えた。町が十二湖で養殖しているイトウを当初より、毎年300匹程度を有償にて提供している。

この事業に取り組んでいる漁業者の前向きな意欲に伝えるため、町としても種苗となるイトウの提供に引き続き努めていく。②個人管理ということで、いけすの管理や出荷調整中の魚の給餌、更には漁業者が市況を見ながら出荷するということはなかなか困難だと推察するところだが、漁協と連携、協力しながら事業に取り組むならば成功への道も開けるものと思う。各漁協に連絡し、希望する場合は積極的に支援していきたい。③その調査に当たっては10年単位にわたる水温調査や藻場の定点観測、類似調査との比較検証といった専門的知識を要するほか、旬の魚がいなくなった、南方系の魚が見られるなど漁業者の実体験も加味し考察する必要がある。調査方法や時期、期間、実施体制など一連の事業設計を構築した上で必要な支援を行うべきものと思っています。

町政をたず



問 脱炭素、集落の問題、町長のビジョンは？

答 脱炭素先行地域指定のための計画を策定したい。集落対策のあり方を模索していきたい。

ふじた かずのり 藤田 一則 議員



「地方からはじまる次の時代への移行戦略」地域脱炭素を実現するための取組について

問 藤田議員 ①多くの国や地域で脱炭素への移行が加速している。地域の成長戦略において、脱炭素は極めて重要な要素になっていくと思うが町の考えは。 ②再エネ等の地域資源を最大限活用することは、地域の課題解決に貢献できると思う。新たな産業と雇用を生み、地域内で経済を循環させることができる。森林や里地里山を手入れし、木材や自然資源（バイオマス）として活用することで、自然を守り、共生する人間らしいライフスタイルを再構築できると思うが町の考えは。 ③暮らしの脱炭素は、今からの短期間でも目に見える成果を出しやすい。農林水産業や地域の将来を見据えた持続可

能な食料システムの構築が急務である。農林水産業における化石燃料起源のCO2ゼロエミッション化等の目標の実現を目指す必要があると思うが町の考えは。

答 町長

3つの質問には関連性があるので、併せてお答えする。 深浦町の脱炭素に向けた現在の取組は、つがる市、鱈ヶ沢町、深浦町3市町で、令和3年度から4年度の2か年事業として「西つがる3市町再エネ導入計画」を策定中で、計画の内容は、地域特性・課題等の把握、温室効果ガス排出量の現状及び将来推計の整理、再生可能エネルギーの導入状況・導入可能量の整理、再エネ導入戦略等となっている。 本計画策定後に実質的な取組を行うため、「地域脱炭素ロードマップ」にある国の支援策「地域脱炭素移行・再エネ推進基金」を活用できるが、まず「脱炭素先行地域」に指



定される必要がある。今年度末までに策定される再エネ導入計画を踏まえ、来年度には脱炭素先行地域に指定されるために必要な計画を策定したい。 国の支援策である交付金の活用例としては、再エネポテンシャルを最大限活用した風力・太陽光・バイオマスを利用した再エネ発電設備を導入住宅・建築物の省エネ性能向上と再エネ・創エネ設備の導入及び充電設備・充電設備の導入。また、林業を活性化しつつ木材資源を活用するなど自然資源を生かした吸収源対策等が考えられる。

町政をたず

②8月3日の大雨では、避難所の開設・運営に要する経費と、被災箇所の緊急応急経費として、800万円を予備費充てて予算措置をした。8月9日の豪雨では、更に被害が拡大し、先の予備費充て分では賸れない経費について、本定例会に緊急対策経費と復旧に向けた被災箇所の調査、測量設計に要する経費、併せて8490万円を予算補正し上程した。今後は、被災箇所の全容把握や本格復旧に莫大な財政負担が生じると想定される。国・県支出金や地方債の活用、財政調整基金などの思い切った投入により、町民生活への悪影響を最小限に抑えるよう対応したい。 ③8月9日夜には21か所の避難所を開設し、自主避難を含めて578名の方が避難した。また、各避難所での食料等については、町の備蓄非常食のほか、町内の商店や飲食店等の協力で、おにぎりや飲物を発注して対応した。 更に、県からも、食料等の

支援物資、約1000食分が届いた。 また、自主防災組織として自治会単位で避難所の運営や炊き出しなどを行ったところも複数あった。 ④弘前大学発表の調査速報によると、「豪雨により被災住家の山側の斜面が流出し、土砂が流動化して土石流となり、家屋に衝突して倒壊させたものと推定される。」としている。 田野沢地区の広域農道の山側で施工している大型風力発電の設置工事に当たっては、林地開発許可基準等に基づき、土壇堤・土側溝、沈砂池、土砂流出防止柵の防災対策等を講じた上で施工していることから、当該工事との因果関係はないものと認識している。



福祉センターへ避難した住民（関地区）



土石流で全壊した家屋（田野沢地区）

町政をたず



問 これまで経験のない大雨被災状況と復旧は？

答 町道長慶平1号線は復旧に複数年、住民生活への影響や緊急性を勘案順次、復旧を

今 かつよし 勝吉 議員



質問者の動画が視聴できます。

①8月13日からの1週間テック・フォース(国土交通省からの緊急災害対策派遣隊)の先遣調査結果と、町が個別に把握した被災箇所をまとめた集計では、8月末現在、町道では18路線77箇所、河川は30河川57箇所、農地約30箇所、農業用施設約20箇所、林道約30箇所となっております。また、町道長慶平1号線は復旧に少なくとも複数年かかるの見込まれ、それ以外の町道は、交通規制をしている路線の応急復旧を先行して進め、住民生活への影響や緊急性を

テック・フォースによる調査の様子



問 今議員 ①コロナ禍の中、当町も新しい観光に向けて動き出した矢先の豪雨による観光への影響は。 ②第一次十二湖振興戦略プラン(2021年度〜2026年度)の新計画の下で事業を展開しているが、現在の状況と今後の財政支援は。 ③町内に設置されている観光案内板等の見直しや改修は。

十二湖観光振興について

今回、多くの方が避難をし、情報の解除を待っていたのに放送がないとの御指摘に、町独自で警報解除の放送をするよう指示した。 ③その内容によって、町建設水道課や消防署、消防団に初期対応を指示するとともに、災害対策本部等で情報を共有し、必要に応じて土木事業者等に対応を依頼するなどしている。

大雨被害について

問 今議員 ①町内全域における被災状況と復旧の見通しは。 ②被災情報提供における防災無線の活用は。 ③被災情報の受理に対する対応は。

勘案しながら、順次、復旧を進めたい。 ②防災行政情報伝達システム(通称「防災無線」)は、気象庁や内閣官房からの情報と連動しており、警報級の気象情報や、震度4以上の地震、津波警報、津波注意報の発令時のほか、弾道ミサイル発射時等に自動で放送するようになっている。 一方、町内の火災やクマの目撃、その他行政情報は町や消防が独自のシステム入力により放送している。

わが町における集落の状況について

問 藤田議員

①これまでの施策を振り返り、地域にとつて真に有効な取組となるよう、集落対策のあり方を今一度見直す必要があると思うが現況をどう把握しているか。 ②小規模な集落、高齢化が進んでいる集落、中山間地の集落は暮らしの維持が困難になっている。集落対策を見直す必要があると思うが町の考えは。 ③町が実効的な集落対策ができるよう、県も現場を知るよう努め、国の制度と町をコーディネートすることが重要であるが、今までの国、県の対応と制度、今後の流れは。

答 町長 ①買物支援や公共交通等、個別の課題把握のためのアンケート等は実施したが、集落全体の問題については、把握し

きていない部分も多数あるものと認識している。集落対策は、多種多様な課題が山積し、地域と行政が一体となつて取り組むべき課題だと理解している。今後は、再任用職員等を活用しながら、地域の実情を把握したい。 ②平成25年度に大戸瀬地区において過疎地域等自立活性化推進交付金を活用した事例をはじめ、今年度、着任した地域おこし協力隊も空き家の問題を糸口に、精力的に活動している。その他にも、総務省では集落支援員や地域活性化企業人等の様々な施策を展開するなど、年々活用できる施策が増えてきているので、集落対策のあり方を見直すというよりも、町にとつてどういった取組が有効な対策か、今一度検討する必要があるものと考えている。 例えば、地域と行政が連携して取り組む地域運営組織、いわゆる「まちづくり協議会」の活用を始め、関係機関と協議しながら集落対策のあ



り方を模索していきたい。 ③国においては集落対策に関する様々なメニューを用意し、制度の詳細について県と連携してオンラインによる説明会等を開催しているほか、県からは、青森県型地域共生社会等の集落対策に関する情報提供を受けている。 今後も、最新の情報収集に努めるとともに、深浦町にふさわしい集落対策について検討していきたい。

スマートフォンなどで手軽に定例会等の録画映像が御覧になれます

議会だより第70号から、定例会・臨時会の録画映像(インターネット配信サービスYouTube(ユーチューブ)へリンクするQRコードを掲載しています。QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、会議の様子が視聴できます。

※QRコードを読み取るためのアプリが必要です。インストールされていない場合は、インストール後に御利用ください。

録画映像を視聴する際の注意(免責)事項

- ◎動画閲覧には、YouTube(ユーチューブ)の動作環境が必要になります。
◎YouTube(ユーチューブ)サイトで配信されている映像及び音声は、本町議会の公式記録ではありません。
◎録画配信映像は、休憩時間及び発言の訂正や取り消しなどの編集を行い配信しています。
◎スマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約していない場合、通信事業者から高額な料金を請求される場合がありますので、特に御注意ください。
◎YouTube(ユーチューブ)サイト上の企業広告等は、本町議会とは一切関係がありません。したがって、広告の閲覧等によって受けた損害等についても本町議会は一切責任を負いません。

決算に関する特別委員会

令和3年度歳入歳出決算・令和4年度補正予算などを審議



決算に関する特別委員会
委員長 藤田 一則

決算に関する特別委員会は、委員長に藤田一則議員、副委員長に岩谷司議員が選任され、9月5日から7日までの3日間にわたって、令和3年度決算関係議案8件、令和4年度補正予算関係議案8件、条例に関する議案1件、工事の請負契約の件1件、合計18件について審議しました。

審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。その中から7項目を抜粋しました。

委員長報告

- 1 世帯数の減少や高齢化により納税貯蓄組合の組合員が年々減少している。町税等の徴収率向上を図る上で当該組合の果たす役割は大きいことから、当該組合へ交付する奨励金を増額するなどし、今後の活動に対する支援と存続を図るよう努めていただきたい。
- 2 消防団員の退団が後を絶たない状況から、さらなる団員確保及び退団抑止策を講じていただきたい。
- 3 除雪オペレーターの高齢化、除雪体制の維持や技術の伝承といった課題解消に向け、中長期的に人材の確保・育成をし、さらなる安全で円滑な道路交通の確保、地域住民が安全・安心に暮らせる生活環境の確保に取り組んでいただきたい。
- 4 この度の豪雨で被災した農地・農業用施設の復旧に係る受益者分担金の負担は、農業経営のひっ迫、今後の営農意欲減退、耕作放棄地の増大を招くおそれがあるため、減免など支援策を講ずるべきである。
- 5 ナラ枯れ被害が目に見えて急拡大しており、景観の悪化や山地災害防止機能、水源かん養機能などへの影響が懸念される。さらなる被害防止に全力で取り組んでいただくとともに、資源循環の観点から、ナラ枯れ被害材の効率的・効果的な利活用方策にも取り組んでいただきたい。
- 6 小学生が所属するスポーツ団体等に対しても、県大会以上の大会等にスポーツ奨励費補助金を交付するなど検討していただきたい。
- 7 公共土木施設等の災害復旧に当たっては、この度の被災規模を勘案し、施設機能の強化等を図った改良復旧を実施していただきたい。

町政をたず

問 町長

①宿泊業等では、やっとこれからと思っていた矢先、夏のトップシーズンであるお盆の時期に大雨が直撃し、キャンセルが相次いだり、自ら予約を断った事業者もあり、コロナの感染者数も高止まりする中での今回の災害の影響は極めて甚大であったと痛感している。大雨被害からの復興支援及び新型コロナウイルス感染症からの観光経済再生に向けて、当初、冬の時期に予定していた「宿泊町民割」を前倒して実施する。

②今年度、県より無償譲渡のあった「十二湖ビクターセンター」内のトイレの洋式化や情報発信機能の強化を図るための整備を計画しており改修している。

十二湖はこのたびの大雨で倒木やがけ崩れ等、多くの被害を受けており、まずはこれらの復旧が急務であり、最優先と考えている。今後改めて十二湖振興戦略会議に計画の内容を諮問しながら、計画の



県から無償譲渡された十二湖ビクターセンター

実行に取り組んでいきたい。

③毎年秋頃に巡回し、新設や撤去、改修の必要性について点検している。今年度、新設はないが、苗代沢地区の国道101号沿いの観光案内看板の腐食が激しいことから、この1か所についてまもなく撤去する。

問 今議員

日本サーモンファーム(株)のトップが廃棄物処理法違反で逮捕された。今後は再発防止のため、「コンプライアンスの徹底を求めていくべきと思うが。

答 町長

逮捕容疑は、「廃棄物処理法違反」とのこと、先般、同社から提出のあった経過報告書によると、それが違法であったとの認識はなかったようである。また、6月15日に警察の捜査を受けてからは、親会社である株式会社オカムラ食品工業の加工場にて脱血処理水を処理しているとのこと。

いずれにしても、当町と協定を結んでいる企業の社長が逮捕されたことは遺憾であり、今後の動向を注視しながら適切な指導に努めていく。

問 今議員

深浦町空き家等対策協議会における設立の経緯と協議会の在り方は。

答 町長

適切な管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等の面で地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしてきていることが全国的に問題化してきたことで、平成26年11月に空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行された。

これを受けて当町でも、地域住民の財産の保護や生活環境の保全、空き家等の活用のため対応が必要であるとの認識から、深浦町空き家等対策協議会設置要綱を制定し、協議会を設置した。

協議会は、副町長以下関係する町職員、町議会議員、警察、消防関係者、行政連絡員、有識者などの15名で組織されており、空き家等対策計画の作成、特定空き家等の判定のほか、空き家等の利活用に関する協議を目的に、毎年、協議会を開催している。



質疑応答

【納税貯蓄組合】
奨励金を増やして！

問 岩谷委員
納税貯蓄組合の組合員数が
どんどん減ってきている。徴
収率確保と高齢者世帯の見守
りも兼ねて、奨励金を増額で
きかないか。

答 山下税務会計課長
確かに奨励金は低いと思う
ので検討したい。

吉田町長

納税貯蓄組合の組合長の御
苦勞には感謝している。全部
ではないが、組合長の高齢化
など厳しい状況でもある。滞
納の改善など組合長がいるか
ら維持しているので、広く考え

て対応する必要がある。素直
に有り難く承って、協議した
い。



【消防団員】
退団が増加
何とかできないか！

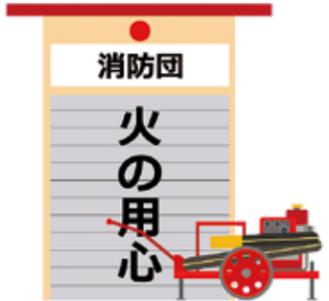
問 工藤委員

最近、30年過ぎたから消防
団員を辞めるといった方が増
えている。退職金の関係もあ
るらしいが、団員として継続
して活動できるように検討で
きかないか。

堀内総務課長

若い団員の退団が特に目立
っている。今後、幹部会議等
でこの件を議題として、退団

の抑制に幹部も言めて本気で
検討していく。



【除排雪】
除雪オへの
確保・技術伝承！

問 今委員

昨年度は大変な大雪だった。
除雪事業者や除雪重機のオペ
レーターも高齢化、後継者不
足など課題はあるが、今後の
除雪体制はどうなのか。

松沢建設水道課長

すでに令和4年度の除雪体
制について事業者へ意向調査
を行っている。町民生活に支

障がないように対応して行き
たい。



【公園管理】
県にお願い
できないか！

問 岩根委員

追良瀬川の公園を自治会が
草刈りなど管理をしているが、
8月豪雨で大きい石だらけに
なってしまい全く草刈り機が
使えないような状況になって
しまった。重機で大きい石を
撤去するなど県にお願いでき
ないものか。

鶴田財政課長
追良瀬川の増水で大変な状
況は確認している。追良瀬河
川公園は、県管理なので対応
をお願いしていきたい。



【農地等災害】
受益者分担金を
免除しては？

問 小野委員・岩谷委員

豪雨で田んぼへの用水施設
が大打撃を受けた。来年、米
を作れないぐらい被害を受け
ている。農業者の高齢化で減
っている。この度の豪雨によ
る農地災害復旧に係る受益者
負担金を町で持てないか？

【漁業(磯回り)】
補助などないの？

問 大川委員

磯のサザエ、ウニ、もずく
などが8月豪雨以来、川の濁
流で海が濁って全然水揚げで
きない状態だ。何か補助など
ないものか。

吉田町長

大雨以来、磯回り漁が不漁
だということも漁業被害。ど
のくらいの期間で元に戻るの
か、追跡調査をする必要があ
る。



【ナラ枯れ】
景観が悪い
何らかの対策は！

問 小野委員

ナラ枯れが目に見えて拡大
している。このまま黙ってい
れば景観の悪化などどうなる
のか心配だ。

山本農林水産課長

ナラ枯れ、松枯れは、県の
事業で、町としては、監視や
発見したら連絡する立場なの
で、県には速やかに伝えてい
く。



【スポーツ】
奨励費補助金
交付しては？

問 岩谷委員

小学生がいるスポーツ団体
の指導者はボランティアでや
っている。県大会以上に進ん
だ場合、補助金を交付しては
どうか。

草創教育長

関係各町村の様々なデー
タを収集して、何ができるかを
真面目に検討したい。



【災害復旧】
現状復旧ではなく
強固なものに！

問 大高委員

災害復旧と言うのは、現状
復旧が概念だが、もっと強固
なものに作れないものか。

松沢建設水道課長

同感であり、強化した方法
で復旧を進めたい。





▲大規模な土砂崩れで道路が寸断した国道101号（黒崎地区）

8月の豪雨で土砂崩れや崩落によって道路が寸断した黒崎地区と松原地区及び土砂が流れ込み、魚が大量に死んだサーモン中間養殖場（日本サーモンファーム株）を視察し、町担当者から説明を受けた。



▲山から土砂が流入し被害を受けたサーモン養殖場（黒崎地区）



▲孤立状態となった松原地区への町道崩落箇所

議員管内視察

9月2日(金)

議会活動



10月20日(木)に北海道の日本海に面して開けた漁業と農業の町で、人口7205人の当町と人口規模が同じせたな町の日本初洋上風力について、亀川議長ほか8名の議員が視察をした。

県外行政視察研修（北海道せたな町）

今年で19年目を迎えすべて売電をしている。令和3年度では売電額が過去最高の5500万円を記録した。洋上風力発電設備の効果については、民間風力発電事業所の誘致につながり雇用が増加し、固定資産税の増収、売電による利益（特別会計）、日本初の洋上風力がある町

深浦町議会 第121回臨時会

10月14日(金)に開催された本臨時会は、補正予算議案1件、財産の取得の件1件、専決処分の報告及びその承認を求めるの件2件、合わせて4件を審議した結果、原案どおり可決・承認されました。



本会議の動画が視聴できます。

価格高騰への緊急支援
緊急支援給付金
8229万円追加

補正予算議案

議案第1号

令和4年度一般会計補正予算 既定の予算に1億2429万5千円を追加し、総額を100億8973万6千円とした。

【歳出の主なもの】

(万円未満切り捨て)

- 民生費
価格高騰緊急支援給付金事業費（住民税非課税世帯に1世帯当たり5万円を給付） 8229万円

農林水産業費

農業総務費（8月豪雨で農作物に被害を受けた農業者へ見舞金を支給） 400万円

商工費

観光業者等災害支援給付事業費（8月豪雨で昨年同期と比較して売上が減少した観光関係事業者等へ支援金） 580万円

観光産業振興費（深浦宿泊キャンペーン全国版経費） 2075万円

災害復旧費

総務施設災害復旧費（8月豪雨による光通信ケーブルの復旧工事） 1200万円

その他の議案

議案第2号

財産の取得の件

取得する財産 トマト選果機用全自動梱包機 一式
取得価格 1738万円
契約の相手方 宮城県岩沼市下野郷字新南長沼1番2号

報告

報告第1号

専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件

8月の豪雨災害に伴う被災者等への町独自の生活再建支援金の支給及び災害ごみの処理に要する経費に関し、特に緊急を要することから9月26日付けで2231万円増額（一般会計補正予算）の専決処分を行った。

報告第2号

専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件

災害復旧事業に係る受益者負担の基準を規定する「深浦町農地・農業用施設災害復旧事業に係る分担金徴収条例」の適用範囲に、単独災害復旧事業に係る受益者負担も対象とする本条例の一部改正を特に緊急を要することから9月14日付けで専決処分を行った。

第121回臨時会採決等状況一覧

Table with columns for proposals (議案等) and council members (大川清光, 岩谷司, 岩根環, 今勝吉, 大高恒藏, 小野信吾, 堀内榮治, 藤田一則, 工藤博利, 斉藤登, 亀川肇) and a final column for the result (議決結果). Results: 議案第1号~議案第2号: 可決(9:0); 報告第1号~報告第2号: 承認(9:0).

※ ○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、議長(亀川肇)は採決に加わらない。

(観光資源) など、これまでの実績を踏まえた状況報告と意見交換がされた。



議会運営委員会

8月29日(月)

調査事項

- 1 深浦町議会120回定例会の日程について
- 2 決算に関する特別委員会設置について
- 3 特別委員会及び本会の採決について
- 4 閉会中の継続調査及び審査の申出について

総務文教常任委員会

8月29日(月)

所管事務の調査

- 1 地域医療体制の確保について
- 2 人口減少対策について
- 3 財政状況の見通しについて
- 4 議会基本条例について
- 5 総務文教常任委員会が所管する事項について

付託案件の審査

- ・ 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

9月7日(水)

所管事務の調査

- 1 議会基本条例について
- 2 総務文教常任委員会が所管する事項について

10月4日(火)

所管事務の調査

- 1 議会基本条例について
- 2 総務文教常任委員会が所管する事項について

産業建設常任委員会

8月16日(火)

所管事務の調査

- ・ 産業建設常任委員会が所管する事項について
- (豪雨による水害対策について)

8月29日(月)

所管事務の調査

- 1 水産試験事業の追跡調査について
- 2 産業建設常任委員会が所管する事項について

議会広報編集委員会

10月25日(水)

- ・ 議会広報第71号の編集について
- 11月10日(木)
- ・ 議会広報第71号の編集について

全員協議会

8月29日(月)

案件

- 1 令和3年度一般会計決算の概要について
- 2 西北五地域ごみ処理広域化について
- 3 サーマン水揚げ時血水処理について
- 4 8月豪雨の被災状況とその対応について
- 5 木造高等学校深浦校舎の活用について
- 6 9月定例会提出議案について
- 7 議会基本条例について
- 8 議員定数について
- 9 西海岸衛生処理組合議会議員の選任について

9月20日(火)

案件

- ・ 8月豪雨に伴う被災者支援等について

報告 西海岸衛生処理組合

9月29日(木)開催の西海岸衛生処理組合臨時会において、監査委員の選任が行われました。結果は次の議員が就任しました。

監査委員 今 勝吉議員

広報編集委員会

委員長 斉藤 登

委員 今 勝吉 岩根 環 岩谷 司

(発行者) 議長 亀川 肇

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号(代) 74-2111(内202)
(直) 74-4418